

事項	キャベツの根こぶ病に対するシアゾファミド水和剤（ランマンフロアブル）のセル成型育苗トレイかん注処理による防除法		
ねらい	キャベツの根こぶ病については、従来、土壌への薬剤混和が必要であったが、新しい防除法として、シアゾファミド水和剤（ランマンフロアブル）のセル成型育苗トレイかん注処理を検討した結果、効果が認められたので参考に供する。		
指導 参考 考 内容	<p>1 シアゾファミド水和剤の使用方法 定植前日～当日に1回、500倍液をセル成型育苗トレイ（30×60cm）1枚当たり2ℓかん注する。</p> <p>2 シアゾファミド水和剤の使用基準等</p> <p>(1) 薬剤名等</p> <p>ア 一般名：シアゾファミド水和剤</p> <p>イ 商品名：ランマンフロアブル</p> <p>ウ 有効成分：シアゾファミド 9.4%</p> <p>エ 人畜毒性：普通物</p> <p>オ 魚毒性：A類</p> <p>(2) 使用基準</p> <p>ア 登録年月：平成14年12月</p> <p>イ 適用病害：キャベツ根こぶ病</p> <p>ウ 希釈倍数：500倍</p> <p>エ 使用方法：かん注</p> <p>オ 使用時期：定植前日～当日</p> <p>カ 使用回数：1回</p> <p>キ 総使用回数：シアゾファミドを含む農薬 1回</p> <p>ク 散布液量：2ℓ/セル成型育苗トレイ（30×60cm）</p>		
期待される効果	セル成型育苗トレイかん注処理によって、ほ場における従来の土壌混和处理と同等の防除効果が期待されるとともに、作業が簡便で農薬費も安いため、労力、コストが軽減される。		
利用上の注意事項	<p>1 発病が激しいほ場では効果が劣ることがあるので、土壌処理剤と組み合わせて使用する。</p> <p>2 品種によっては、初期に軽度の生育抑制がみられることがあるが、実用上は問題ない。</p> <p>3 耕種的防除（県防除指針参照）に努める。</p> <p>4 本資料は平成16年3月1日現在の農薬登録に基づいて作成した。</p> <p>5 農薬を使用する場合は、必ず最新の「農薬登録情報」（http://www.jppn.ne.jp/nouyak）を確認すること。</p>		
担当	青森県農林総合研究センター 病害虫防除室	対象地域	県下全域
発表文献等	平成13年度 青森県農業試験場試験成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 キャベツ根こぶ病に対するランマンフロアブルの防除効果

(平成13年 青森農林総研)

供試薬剤名	希釈倍数 ・使用量	7月10日調査		7月31日調査		防除価	薬害
		発病株率	発病度	発病株率	発病度		
ランマンフロアブル	500倍、2ℓ/ セルトレイかん注	93.0	28.3a	93.0b	28.0a	63.2	—
フロンサイド粉剤	40kg/10a、 土壌全面混和	60.0	15.0a	85.0a	27.0a	64.5	—
無散布	—	97.0	60.8b	100 c	76.0b		
F-検定		n. s.	**	***	***		

(注) 1 表中の同一英字を付した平均値間には Tukeyの多重比較検定による有意差(5%)がないことを示す。

2 試験条件

- (1) 試験場所：青森農林総研(黒石)ほ場 品種：金系 201号 定植日：平成13年5月29日
- (2) 処理日：5月29日(定植当日)、128穴セルトレイ使用、対照薬剤は定植直前に処理
- (3) 発生状況：甚発生

表2 キャベツ根こぶ病に対するランマンフロアブルの防除効果

(平成13年 和歌山県植防)

供試薬剤名	希釈倍数	10月15日調査			薬害
		発病株率	発病度	防除価	
ランマンフロアブル	500倍、2ℓ/ セルトレイかん注	12.5	7.0	88.1	—
フロンサイド粉剤	40kg/10a、 土壌全面混和	2.5	2.0	96.6	—
無散布	—	77.5	59.0		

(注) 1 試験場所：貴志川町高尾(現地農家ほ場) 品種：彩風

2 定植日：平成13年9月18日 処理日：9月17日(定植前日)、
128穴セルトレイ使用、対照薬剤は定植前日に処理

3 発生状況：中発生

表3 キャベツ根こぶ病に対するランマンフロアブルの防除効果

(平成13年 岩手県植防)

供試薬剤名	希釈倍数	7月21日調査			薬害
		発病株率	発病度	防除価	
ランマンフロアブル	500倍、2ℓ/ セルトレイかん注	16.7	4.2	84.5	—
ネビジン粉剤	30kg/10a、 土壌全面混和	10.4	3.1	88.1	—
無散布	—	50.0	26.1		

(注) 1 試験場所：水沢市(現地農家ほ場) 品種：YR-青春

2 定植日：平成13年5月19日 処理日：5月17日(定植2日前)

3 対照薬剤は定植直前に処理 発生状況：中発生

(参考価格)

- 1 ランマンフロアブル：970円前後/100ml、500倍2ℓかん注/セルトレイ(30×60cm)で約40円、30~40枚(128穴)/10aで約1,200~1,600円
- 2 フロンサイド粉剤：5,030円前後/20kg、40kg/10aで約10,060円
- 3 ネビジン粉剤：6,540円前後/15kg、30kg/10aで約13,080円
- 4 ダコソイル：8,590円前後/20kg、40kg/10aで約17,180円